

公共施設の再編・再配置と 都和地区再編方針の検討について

令和8年7月

総務部 財産管理課

公共施設マネジメント推進室

目次

A これまでの経緯・決定したこと

- 1 公共施設を取り巻く課題
- 2 土浦市の公共施設再編・再配置の取り組み

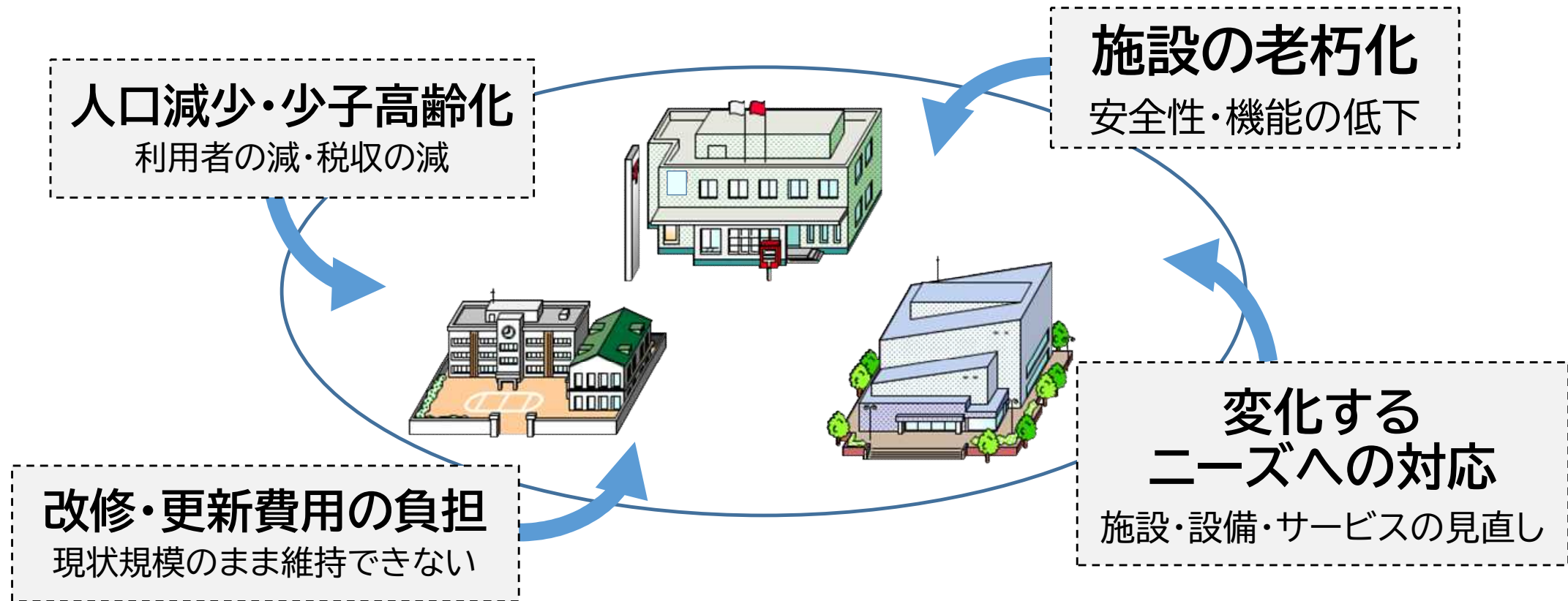
B 本日の意見交換内容

- 3 都和地区再編方針の検討状況について

A これまでの経緯・決定したこと

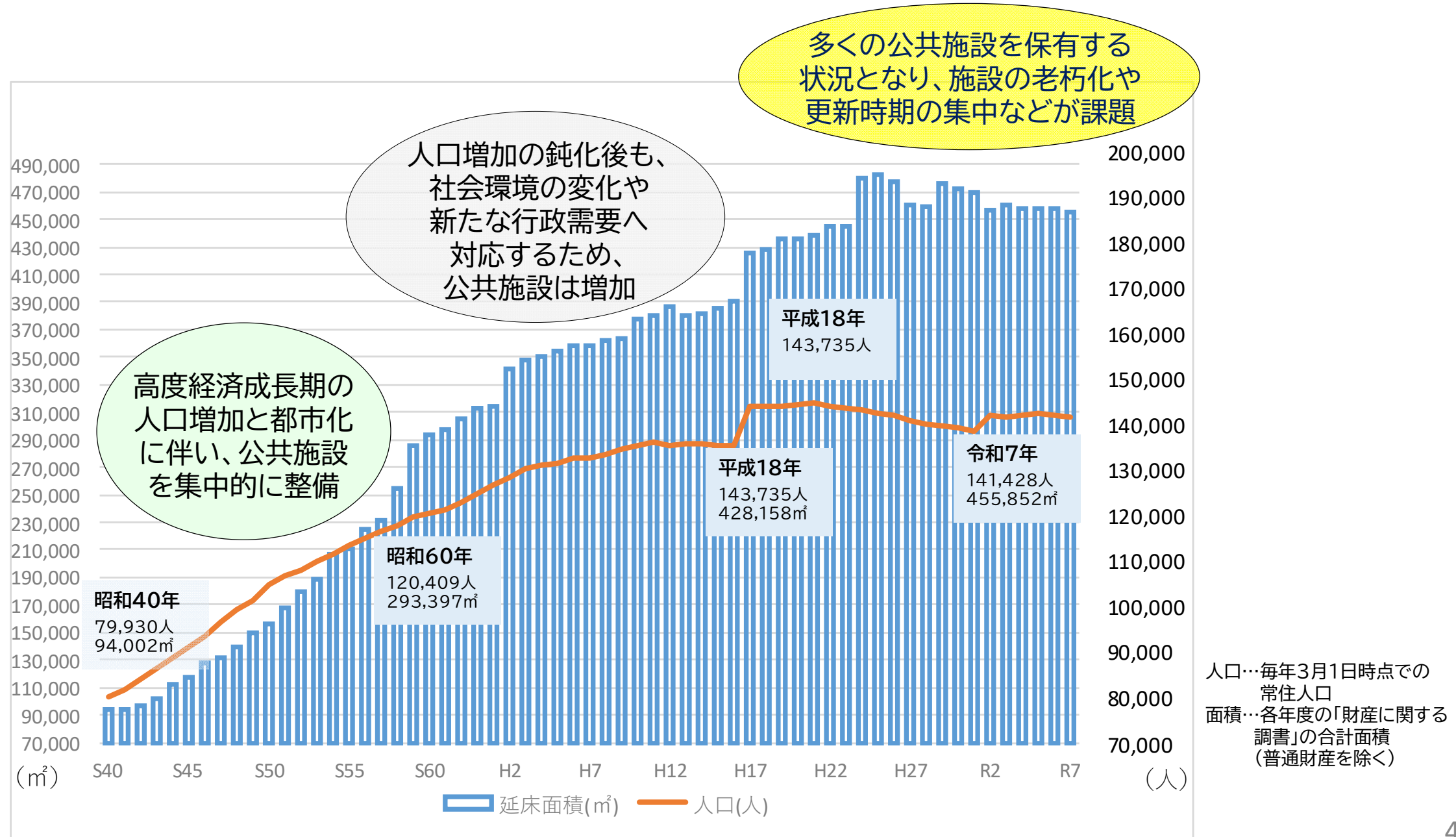
1 公共施設を取り巻く課題

1 公共施設を取り巻く課題

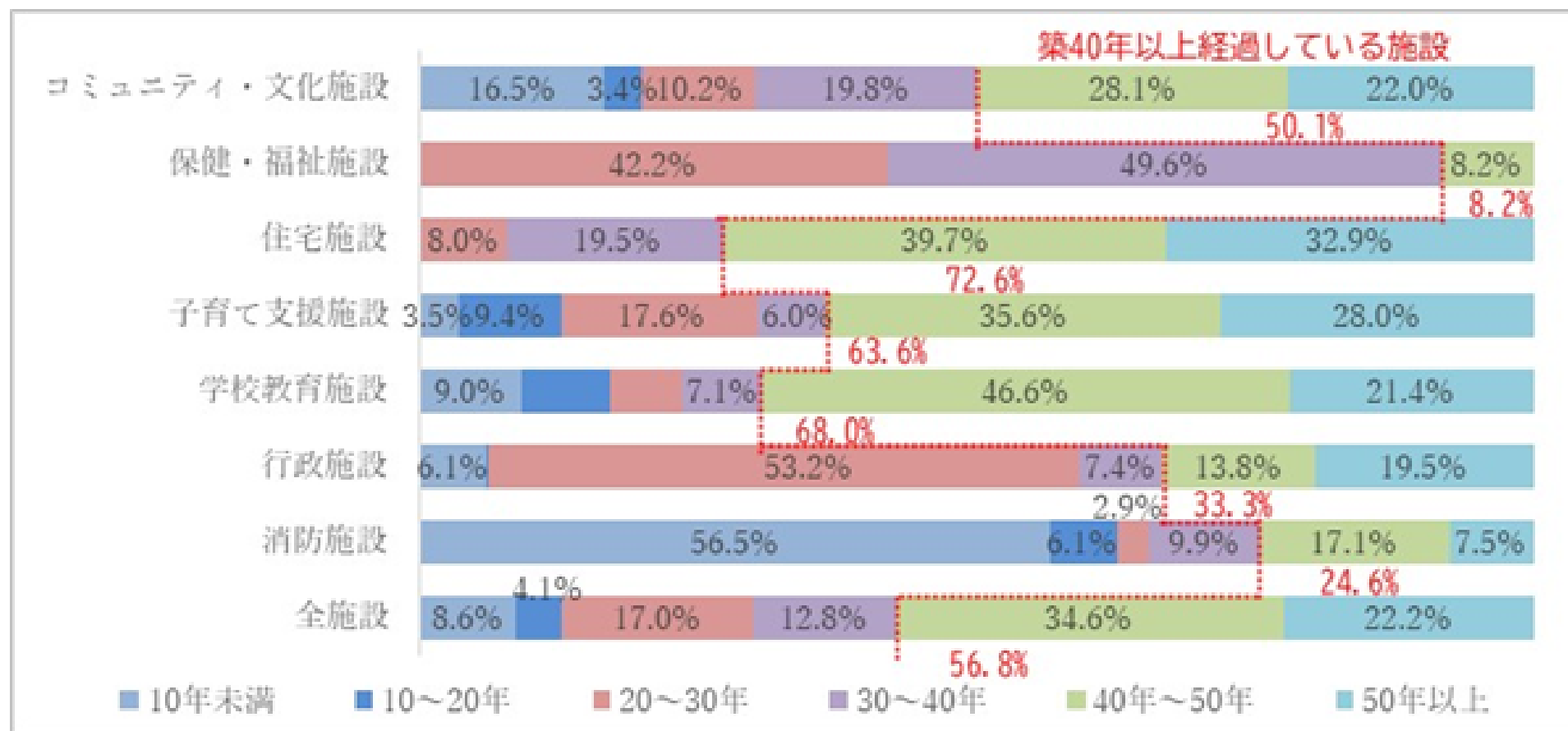


これらの課題に対応するためには、「施設ごと」はなく、
「複数施設・地域全体」を見据えた一体的な取り組みが不可欠
→ 公共施設全体の視点から、再編・再配置について総合的に検討

<参考1>土浦市の人口と公共施設面積の推移



<参考2> 公共施設の築年数 (対象:再編・再配置計画対象188施設)



- ・令和7年3月時点において、**公共施設全体の半数以上**(延床面積ベース)が**築40年以上を経過**
- ・施設分類別では、住宅施設、学校教育施設、子育て支援施設の順に築40年以上の割合が高い

<参考3>土浦市の人口動態と将来人口推計

A これまでの経緯・決定したこと

①本市の人口動態 … 14万人程度で推移

令和7年国勢調査(速報値)

令和2年に比べ486人の減少(▲0.3%)

- ・令和7年 … 141,588人
- ・令和2年 … 142,074人

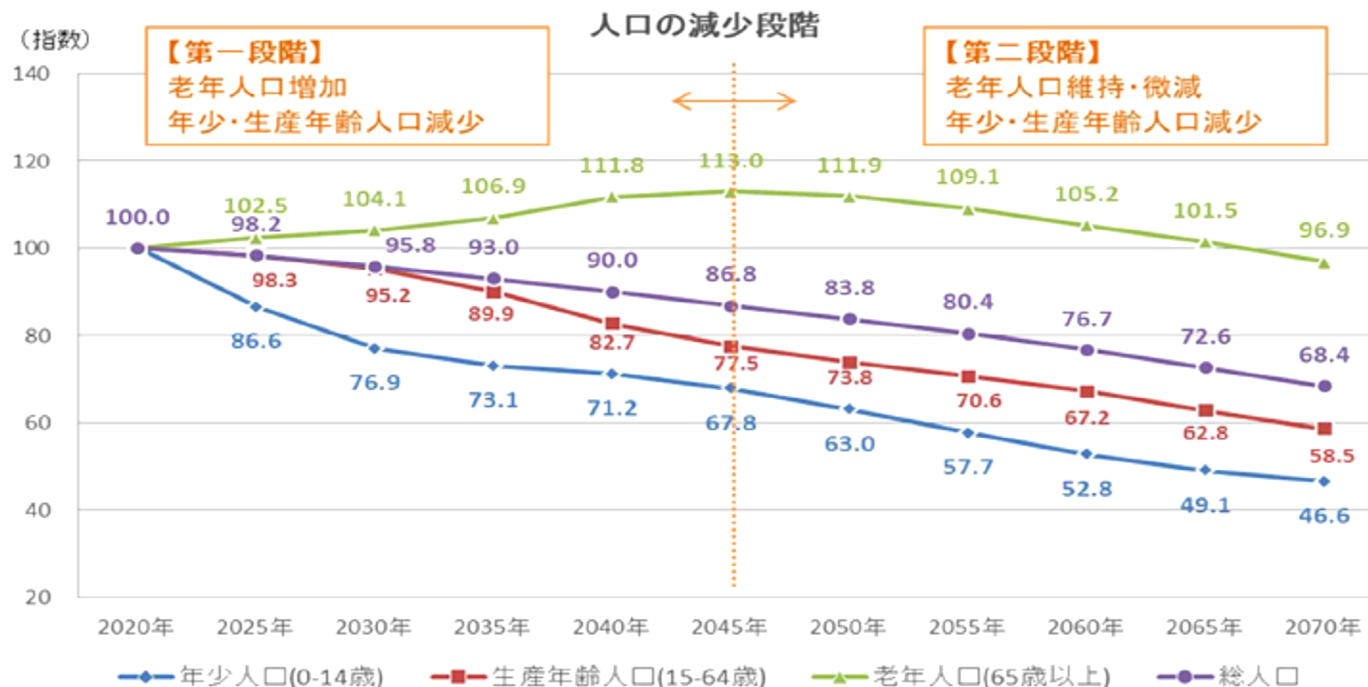
②将来人口推計に基づく人口減少段階

【第一段階】(2045年度まで)

老年人口増加、年少・生産年齢人口減少

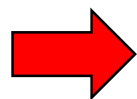
【第二段階】(2045年度以降)

老年人口も減少



「第3期土浦市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」より

- ・将来人口の減少
- ・少子高齢化の一層の進行

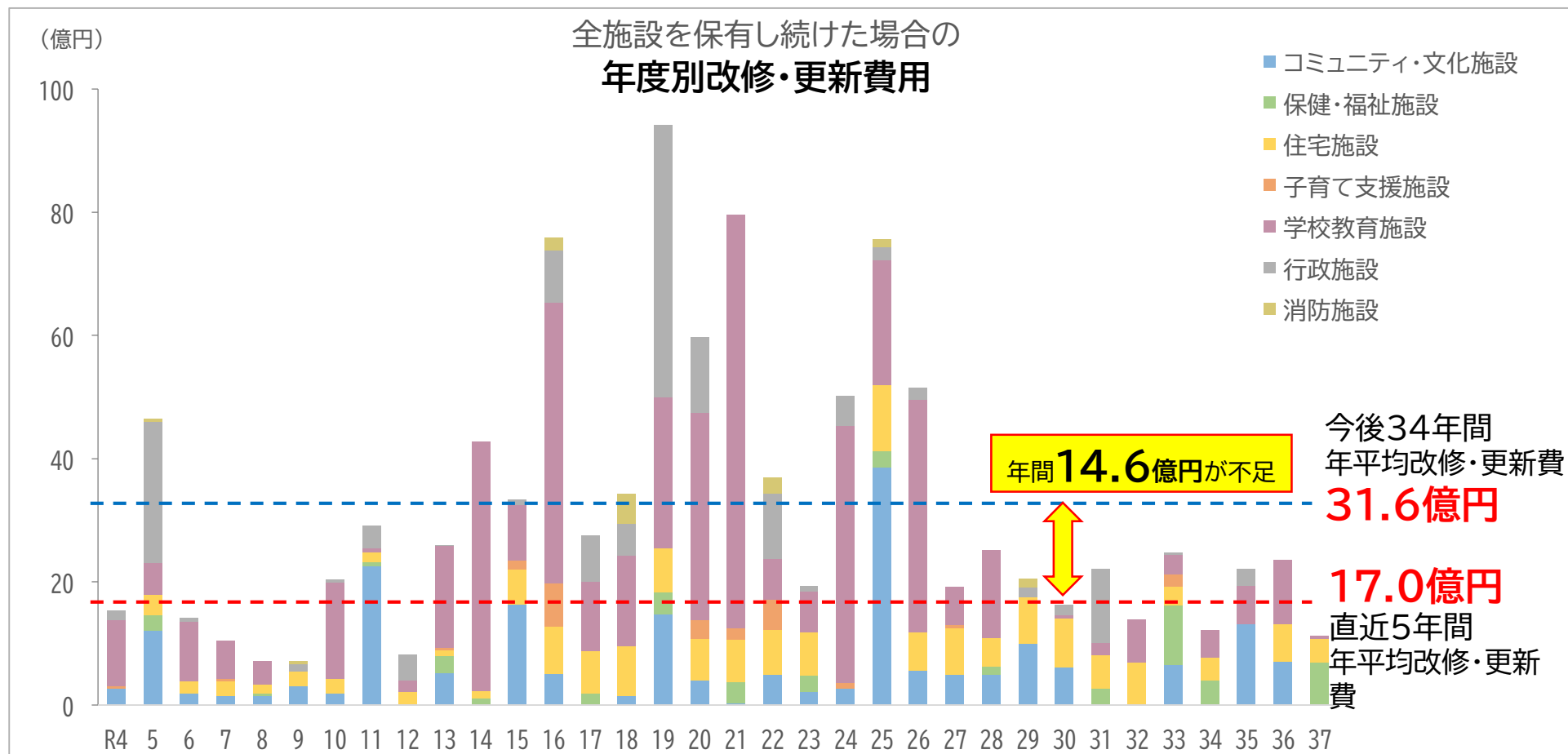


税収の減少、社会保障費の増大
→ 公共施設の改修・更新等に充てる財源の減少

<参考4> 改修・更新費用の負担

土浦市公共施設等総合管理計画（令和3年度改訂）より

今後、公共施設を維持していくために必要な改修・更新費 … 年平均**31.6億円**
直近5年間の大規模新規事業を除く投資的経費**17.0億円**と比較すると年間**14.6億円不足**。



人口減少・高齢化により今後厳しさを増す財政状況 ⇒ **公共施設を現状規模のまま維持することは不可能**
これは、土浦市だけの特殊事情ではなく、全国の自治体で直面している問題

A これまでの経緯・決定したこと

2 土浦市の公共施設再編・再配置の取り組み

2 土浦市の公共施設再編・再配置の取り組み

(1)基本的な考え方 [公共施設等総合管理計画(令和3年度改訂)]

長く使う

目標使用年数: **80年**

見直す

- ・**施設配置**を見直す(集約・複合化や廃止・解体など)
- ・**運営手法**を見直す(サービスの見直し、民間活力の活用など)

減らす

令和37年度における施設総量(延床面積)を**30%縮減**(令和3年度比)

↑
将来人口、改修・更新費を踏まえ算出

2 土浦市の公共施設再編・再配置の取り組み

(2)各施設の方針策定 [公共施設等再編・再配置計画 令和4年度策定(令和7年度改定)]

- ①対象:188施設 (道路、公園などのインフラ施設を除く全ての施設)
- ②類型別の方向性の策定 … 施設機能に基づく23類型ごとに、今後の方向性を明確化
- ③配置方針の策定

配置方針とは …

- ・計画期間における各施設の「**大まかな方向性**」と「**実施時期の目安**」を定めたもの
 - 大まかな方向性** : 長寿命化、集約・複合化、移転、譲渡・売却、用途廃止 など
 - 実施時期の目安** : 計画期間(～令和24年度)の中で、実施時期の目安を5年単位で記載
- ・サービス全体の今後の方向性を示した上で、各施設の利用状況や建物の老朽化状況などを踏まえ策定

②類型別の方向性(令和6年2月策定) [再編・再配置計画より抜粋]

7. 支所・出張所

Photo7：南支所

【現状と課題】

- ・支所・出張所の取り扱い件数は減少傾向
- ・令和4年度の検討で「他施設への複合化や機能移転」「利用状況やデジタル化等を踏まえたサービスのあり方を検討」としている

今後の方向性

- ☆他の施設との複合化により建物総量の圧縮を図りつつ、地域の拠点施設への移設による利便性向上を図ります。
- ☆現在の利用状況やマイナンバー制度を含めたデジタル化の進展を踏まえ、各地区に必要な窓口機能について見直しを図ります。



将来的には…

複合化と合わせて窓口サービスの見直しを行うことで、業務効率化及び市民の利便性向上が図られます。

②類型別の方向性(令和6年2月策定) [再編・再配置計画より抜粋]

6. 児童館等

Photo6: ポプラ児童館

【現状と課題】

- ・純行政コストは、利用者1人当たり、延床面積当たりのいずれも、新治児童館が他施設と比較して高い
- ・都和・新治児童館は築40年以上経過し、老朽化が著しい

今後の方向性

- ☆複合・集約化により建物総量の圧縮を図りつつ、子育て支援の場の維持や魅力向上を図ります。
- ☆他類型の施設との複合化により、他機能との連携や多世代交流の充実など、利便性や機能の向上を図ります。



将来的には…

多機能で魅力的な施設になることで、子育て支援の充実が図られます。

②類型別の機能配置検討(令和6年度) 高齢者福祉施設

a 老人福祉センターの 現状と課題

[再編・再配置計画から抜粋]

(1)設置の経緯

- ・根拠法:老人福祉法(昭和38年制定)…当初から浴室の規定あり
- ・昭和52年には、従来の施設をA型とし、浴室を必要としないB型を新たに規定。(特A・A型・B型)
- ・A型の施設は、県内24自治体に40施設設置されている。

(2)現状と課題

- ①浴室及び健康器具、集会室等を設置(市内在住60歳以上:無料)
「憩い・くつろぎ」「教養の向上」を中心としたサービスを提供
- ②老人福祉センター開設当時と比べ、社会情勢が大きく変化。
(介護保険制度創設、健康寿命延伸、高齢者の余暇の多様化・健康志向、高齢者の就労者の増加 など)
※**高齢者のライフスタイルや価値観が多様化する中、高齢者の活動に対するニーズも多岐にわたっている**
(生きがい対応型デイサービスや民間の温浴施設等)
- ③利用状況…**利用者の固定化が進んでいる。**



- ・浴室サービスについて、今後も行政が提供すべきか
- ・建物や温浴設備の老朽化への対応…多額の費用を要する
(例)湖畔荘の改修費用概算…長寿命化+浴室設備改修=約3億円
⇒今後改修時期を迎える際、施設のあり方を検討する必要がある

(3)浴室サービスのあり方

- ・持続可能な行政サービスを提供するため、建物総量の圧縮やコスト縮減を図る必要がある
- ・浴室サービスは、行政が提供するサービスの中では、優先順位が低い



段階的に
サービスを縮小

(4)老人福祉センターの残すべきサービス

- ・介護予防、健康増進に係るサービス(カラオケ、介護予防体操、健康相談など)
- ・生きがい、居場所としての役割(趣味の活動、レクリエーションなど)



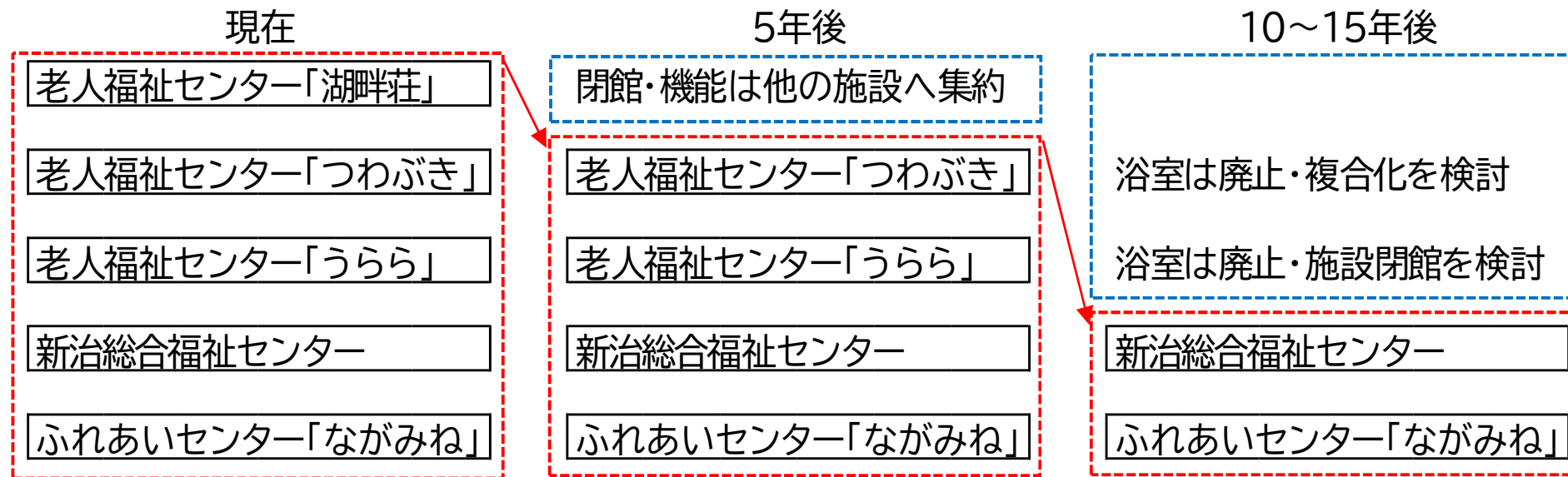
他の施設で提供可能
(公民館、生きがい
対応型デイサービス等)

②類型別の機能配置検討(令和6年度) 高齢者福祉施設

b 浴室のあり方と今後確保する機能

- ・浴室機能は、段階的に**縮小**
- ・集会機能は、他の施設を活用するなど**機能を確保**

[再編・再配置計画より抜粋]



集会施設としてのサービスは、他施設との集約・複合化等により今後も確保

浴室サービスは段階的に縮小

②類型別の方向性(令和6年2月策定) [再編・再配置計画より抜粋]

2. 図書館

Photo2：土浦市立図書館

【現状と課題】

- ・ 都和分館の来館者数が、他の分館と比べて著しく少ない
- ・ 来館者1人当たりの純行政コストは、本館及び新治分館が高い
- ・ 将来世代からは、自習スペースの確保に係る要望が多い



今後の方向性

☆現在の施設数は維持していきます。

☆サービス内容の見直しにより、純行政コストの削減を図りつつ、より多くの市民が気軽に利用でき、市民生活の身近な存在となるよう、利便性向上を図ります。

将来的には…

市民ニーズに対応したサービス内容の見直しにより、より多くの市民にとって利便性の向上が図られます。

2 土浦市の公共施設再編・再配置の取り組み

(3)計画の実行 [令和8年度～]

＜地区別再編方針の策定について＞

- ・ 配置方針に基づく具体的な**施設配置・実施時期**を地区別に検討の上、**地区別再編方針**を策定
- ・ 各施設の劣化状況や関連施設の改修時期等を考慮し、優先順位の高い地区から順次実施

都和児童館の老朽化が著しく、
早急にあり方を検討する必要性

<令和8年度>

- ・ 都和地区の再編方針を検討
- ・ 利用状況や老朽化状況などから、以下の4施設を検討対象施設として選定
[都和支所、図書館都和分館、老人福祉センター「つわぶき」、都和児童館]

地区別の検討スケジュール(再編・再配置計画より抜粋)

地区	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24
都和地区 都和支所、老人福祉センター「つわぶき」、都和児童館、図書館都和分館	 検討	 策定										 支所移転						
										都和公民館								
										長寿命化改修工事								
										つわぶき 浴室利用終了								

◎検討対象施設の配置方針と配置パターン案

配置方針（再編・再配置計画より抜粋・加工）

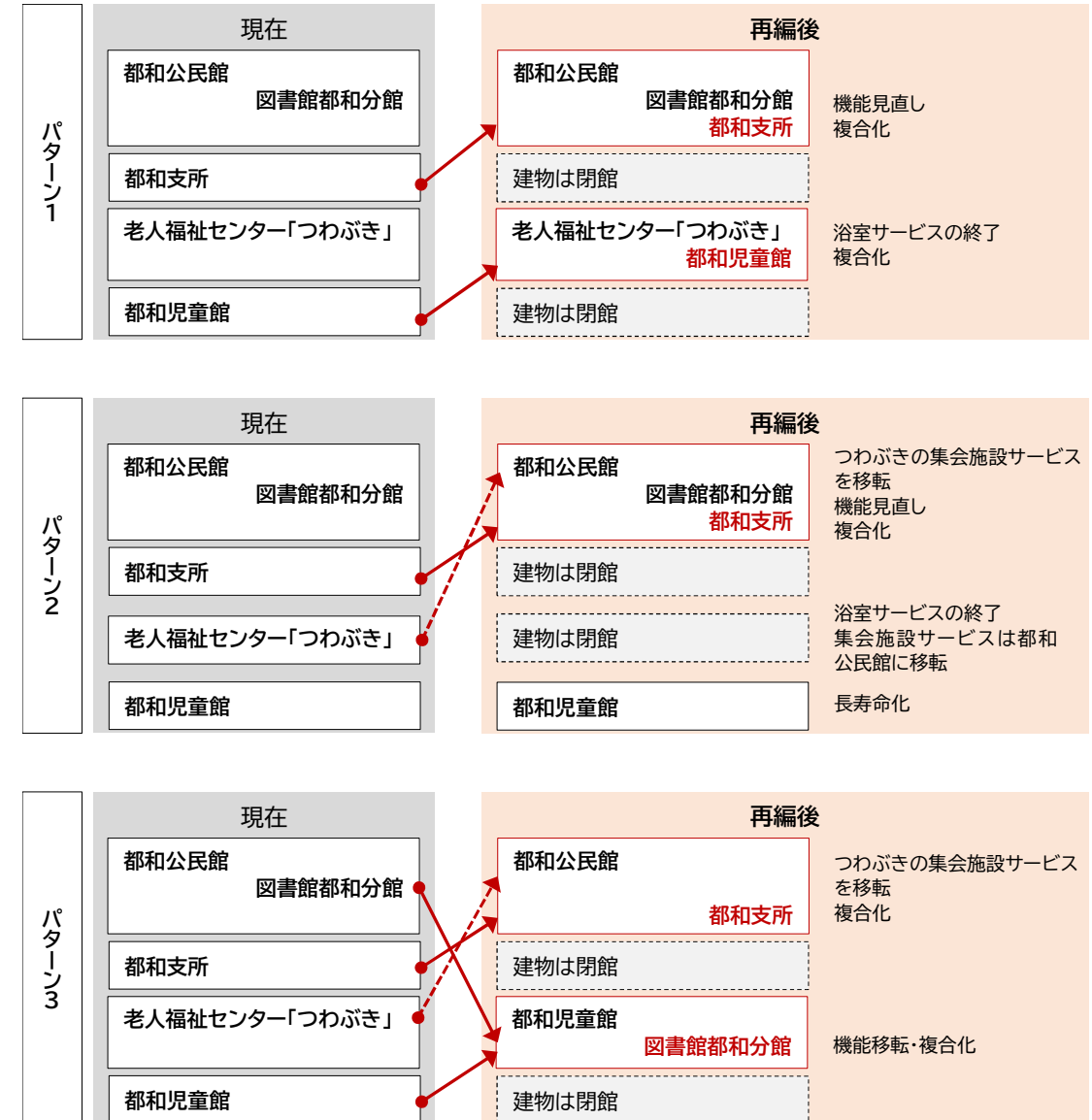
対象施設	延床面積	建築年	築年数	配置方針	時期				配置方針
					R5-9	R10-14	R15-19	R20-24	
都和支所	74㎡	S58	42年	移転	→				地区内へ移転可能性検討
都和児童館	438㎡	S48	52年	移転 長寿命化	→				地区内への移転を含めた検討
老人福祉センター「つわぶき」	1,149㎡	H4	33年	移転 用途廃止	→				浴室サービス終了、 集会施設としての機能移転検討
図書館都和分館	80㎡	S63	37年	長寿命化 移転	→				長寿命化を基本とし、 地区内移転も検討

検討対象4施設について、
配置方針(上図)、配置パターン案(右図)を基に、
機能や配置のあり方等を地区全体で検討の上、
「**地区別再編方針**」を策定する。

(配置パターン案における各施設の方向性)

- ・都和支所 …都和公民館へ移転し、現施設を閉館
- ・都和児童館 …現位置 または つわぶきへ移転・複合化
- ・つわぶき … 浴室サービスの終了
集会機能を現位置 または 都和公民館に確保
- ・図書館都和分館 …現位置 または つわぶきへ移転・複合化

配置パターン案（再編・再配置計画より抜粋）

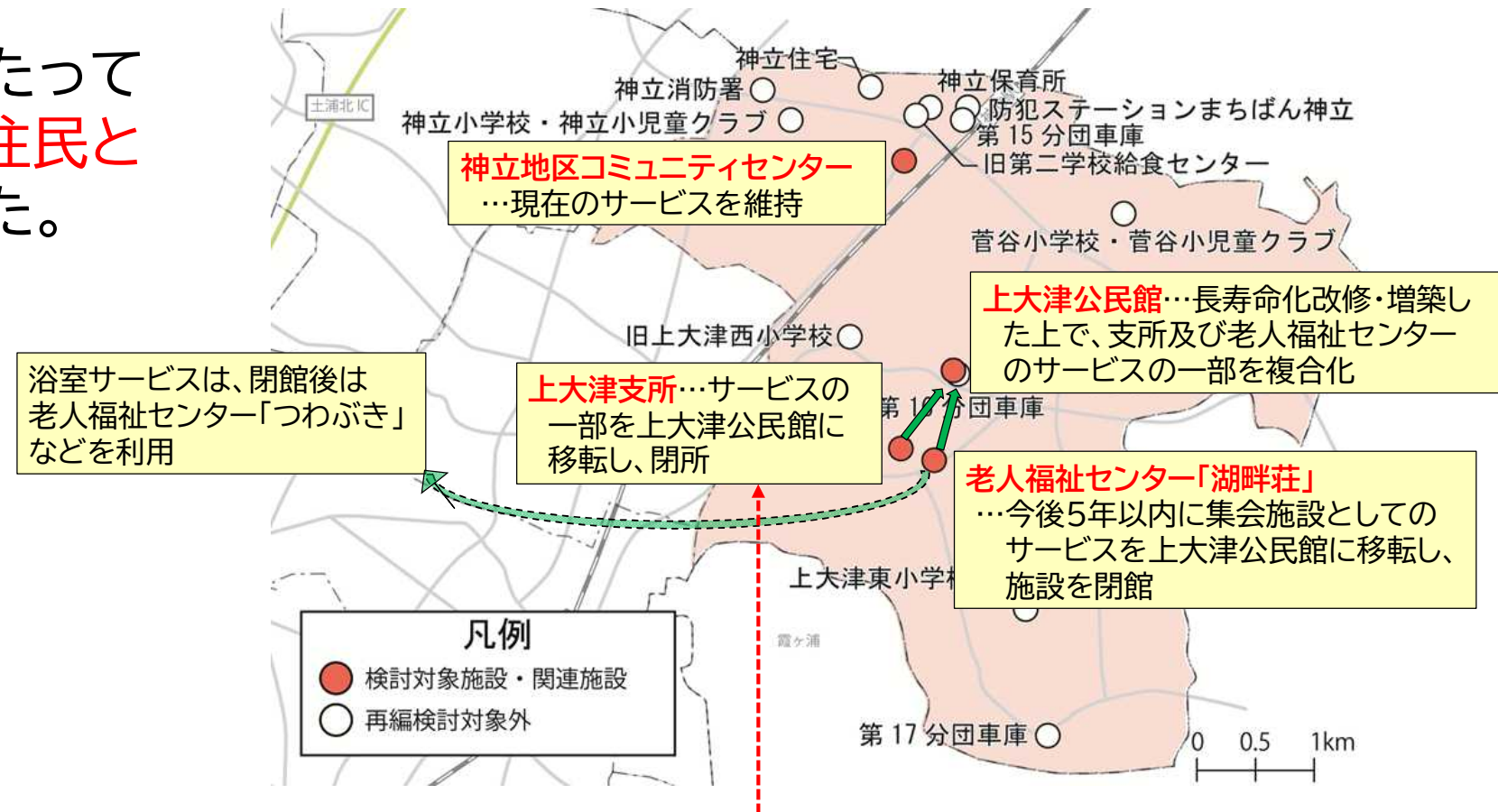


<参考1> 五中地区における公共施設再編方針(令和6年度策定)

上大津公民館への支所機能移転の検討において、五中地区内における関連施設(湖畔荘、神立コミセン)を含めた検討を行った。

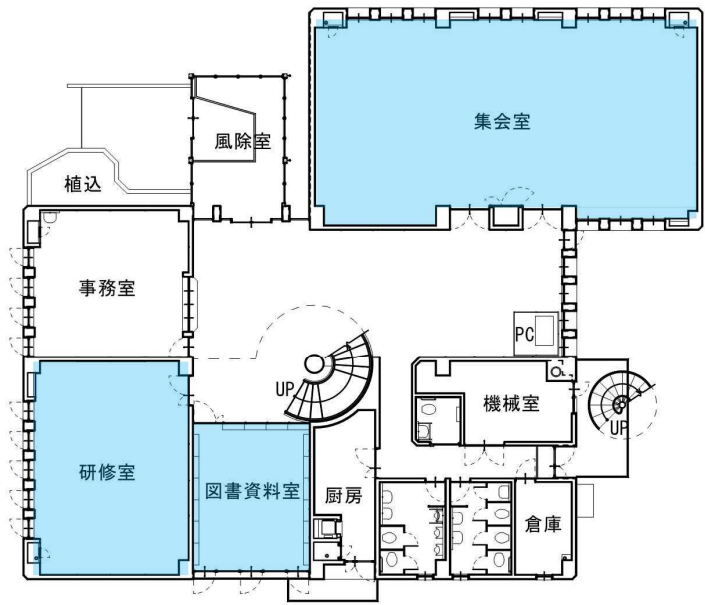
対象施設の方針検討にあたっては、検討内容について**地域住民との意見交換会**を3回実施した。

→「土浦市公共施設等再編・再配置計画策定委員会」での協議や、パブリック・コメントを経て、**令和6年度末に正式に方針決定した。**



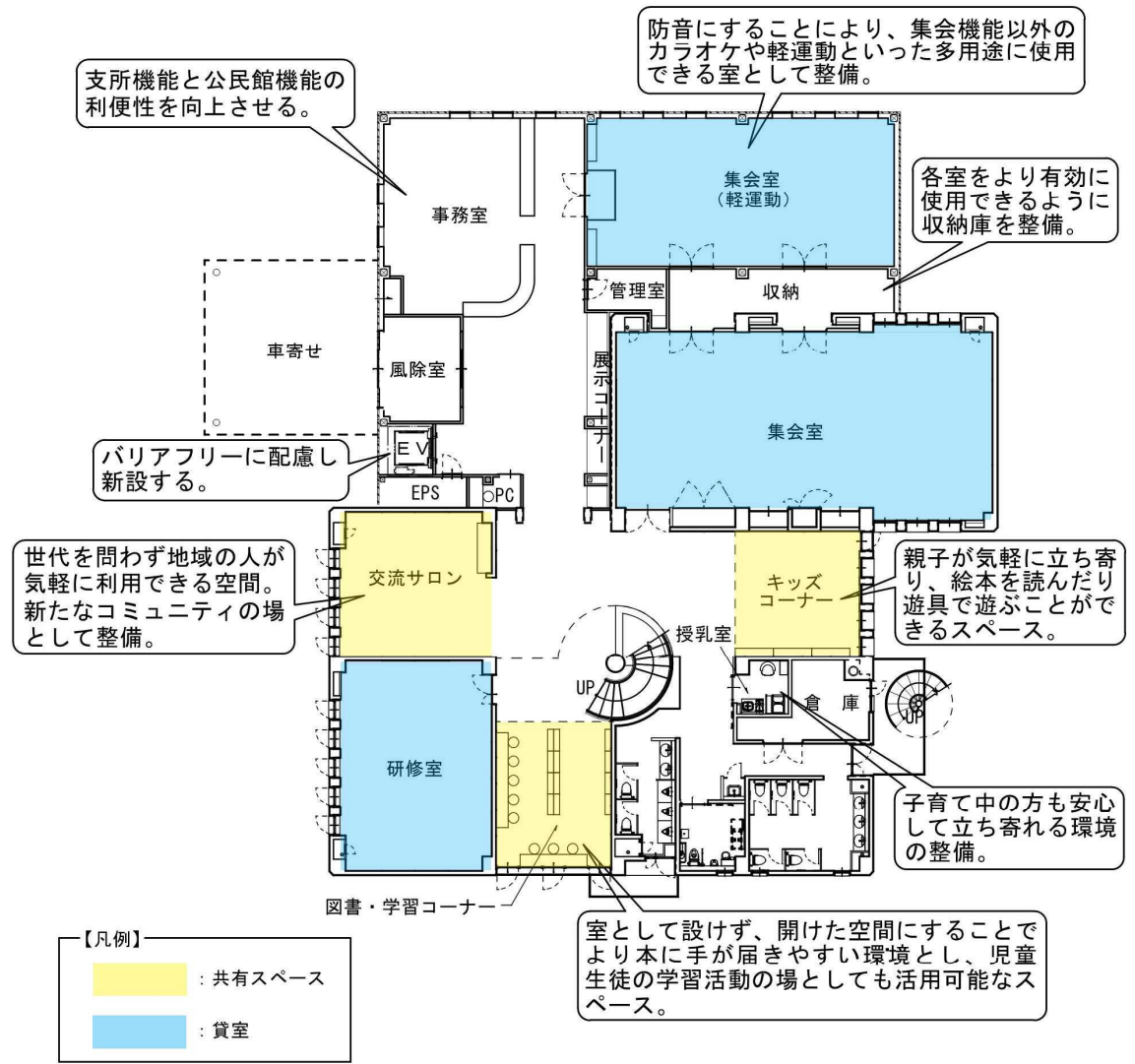
※令和7年4月末に閉所し、翌月上大津公民館に移転済

既存

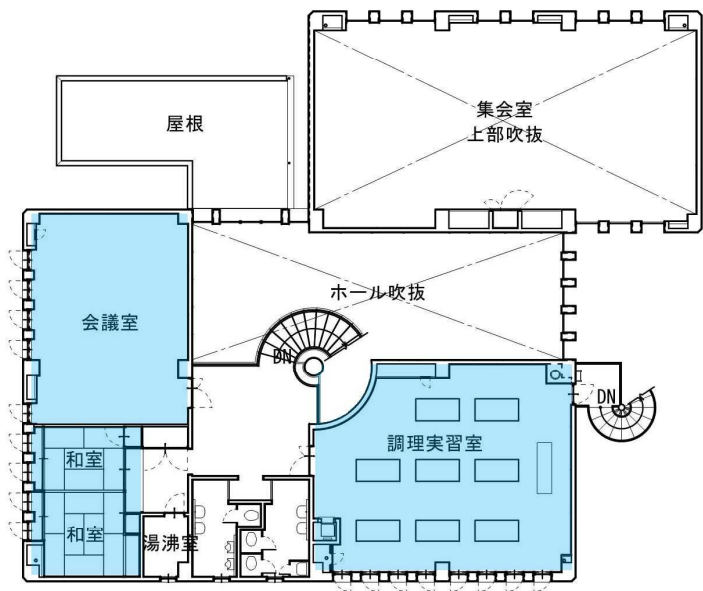


改修案

1 階



既存

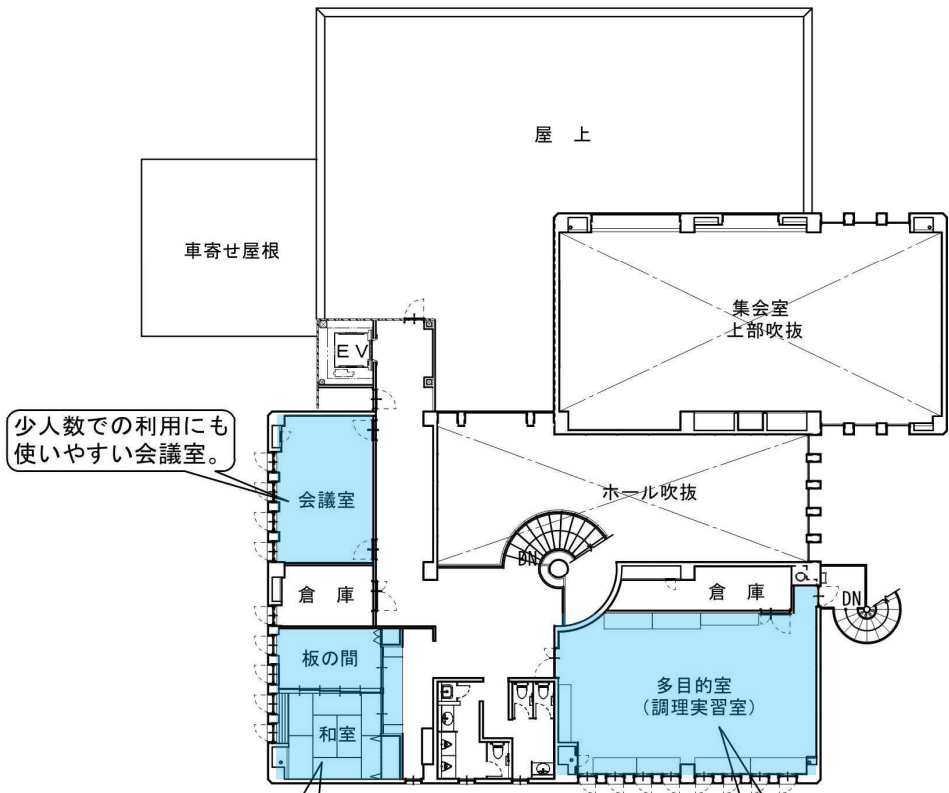


【凡例】

- 共有スペース
- 貸室

改修案

2 階



一部をフローリングにすることで、和室でありながらテーブルや椅子が置け、直接畳に座れない方などを配慮した空間として整備。

調理台を壁際に寄せて配置し、可動テーブルを配置することで、調理以外の多目的な用途で利用できる室として整備。

B 本日の意見交換内容

3 都和地区再編方針の検討状況について

(1) 都和支所

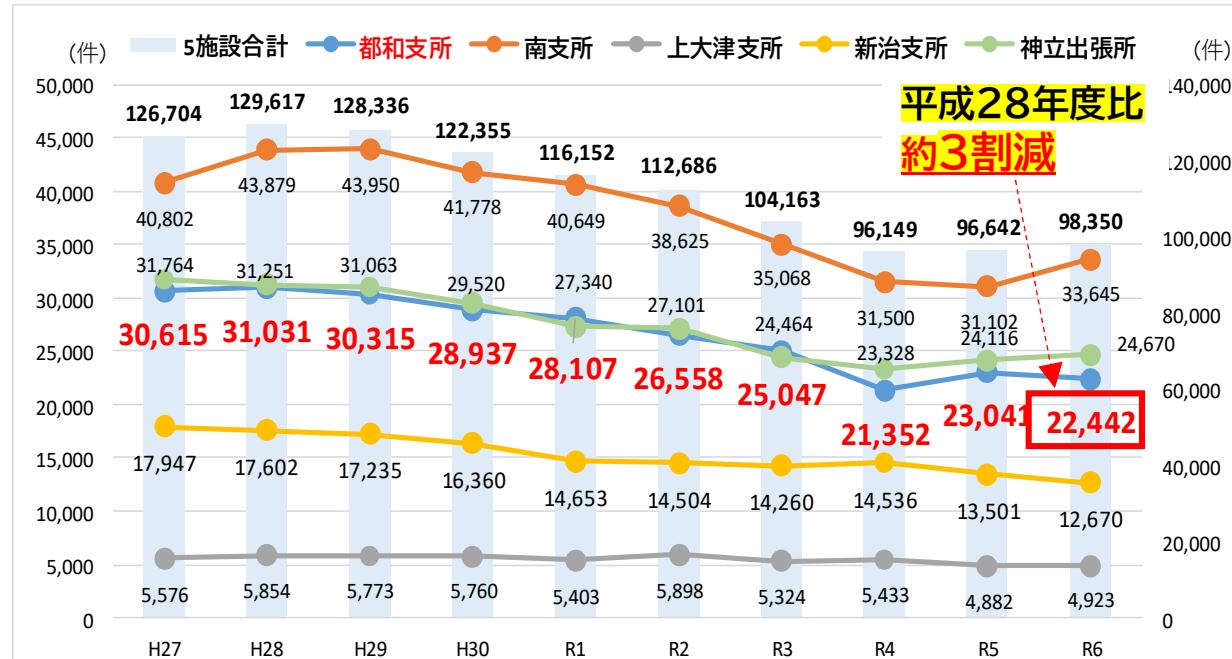
(1) 都和支所

a 現状と課題

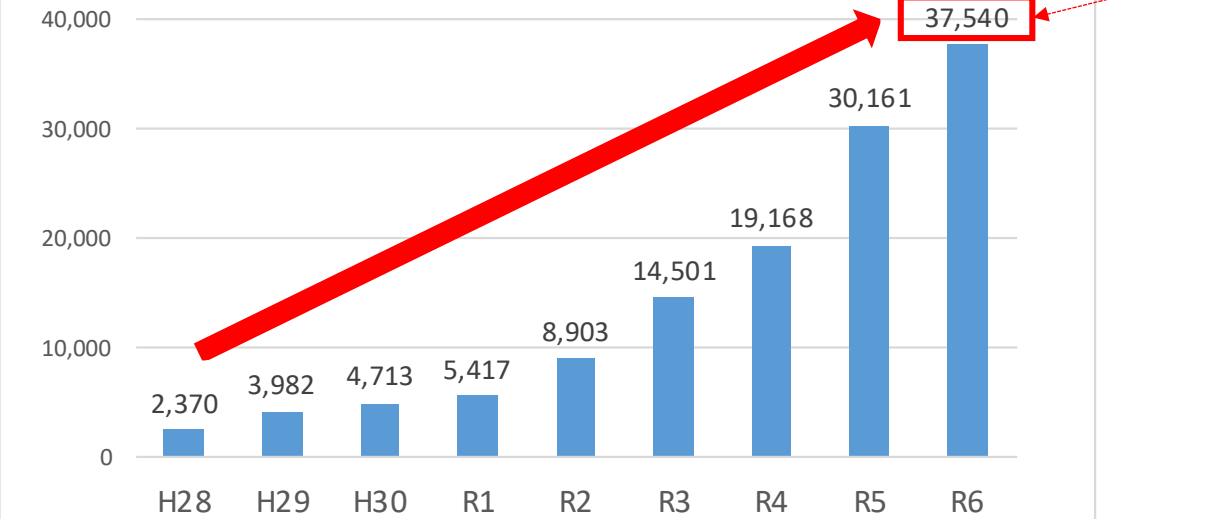
来庁を必要としない手続きが増加する中、
支所・出張所全体の利用件数は減少傾向

- ・証明書のコンビニ交付の増(住民票、税証明)
- ・市税の収納方法の多様化
(クレジットカード、口座振替、スマホ決済など)

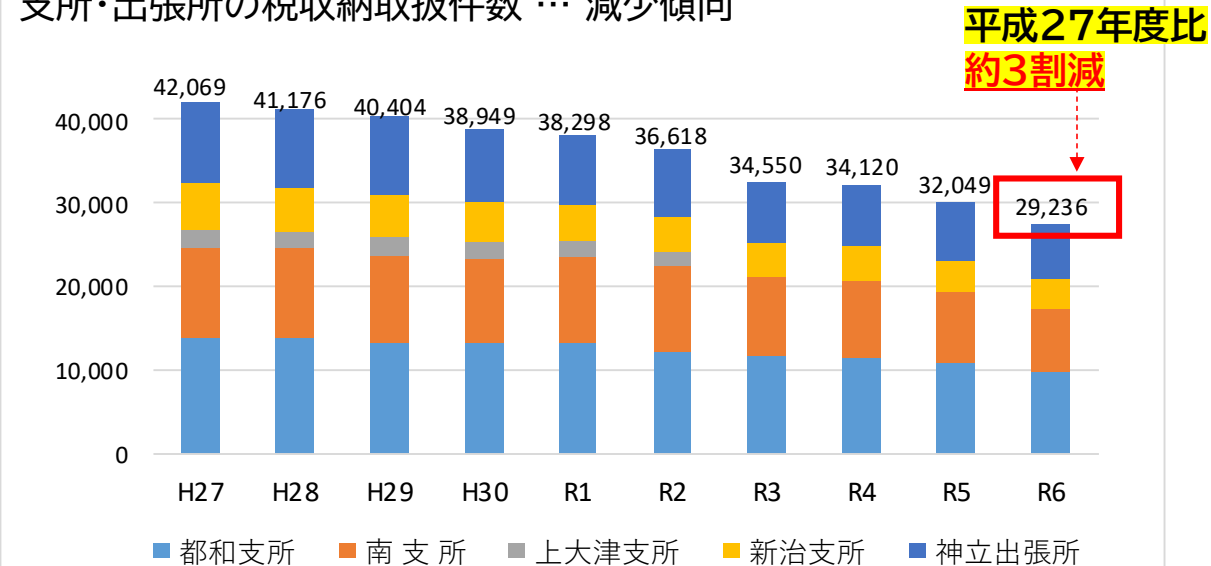
支所・出張所の利用件数 … 減少傾向



コンビニでの証明書交付件数 … 大幅増



支所・出張所の税収納取扱件数 … 減少傾向



(1)都和支所

b 都和支所の利用状況(令和6年度)

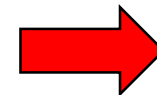
サービス機能	都 和 支 所	
①証明書発行手続き	8,305	37.0%
②市税収納	9,703	43.2%
③各課手続き書類の受領	3,544	15.8%
④戸籍届出	350	1.6%
⑤住所異動	295	1.3%
⑥印鑑登録	230	1.0%
⑦マイナンバー関係	15	0.1%
合 計	22,442	100.0%



①～③が全体の約**96%**を占める

c 建物・コスト状況

施設名称	延床面積	建築年	築年数	R6年度 年間利用件数 (件)	R5年度 純行政コスト (千円)
都和支所	74m ²	S58	43年	22,442	21,298
南支所	75m ²	H3	35年	33,645	27,837
新治支所	105m ²	S62	39年	12,670	19,367
神立出張所	58m ²	H14	24年	24,670	19,451
上大津支所	74m ²	S56	45件	4,923	18,311



支所1施設あたり年間約**2,000万円**
の運営コストが発生

+

施設の老朽化への対応として、

支所1施設あたり約**4,300万円**の
更新費用が発生(概算)

※純行政コスト…支出総額から収入を差し引いた実際の市負担額

※上大津支所はR7年4月末に閉所し、上大津公民館に一部機能を移転

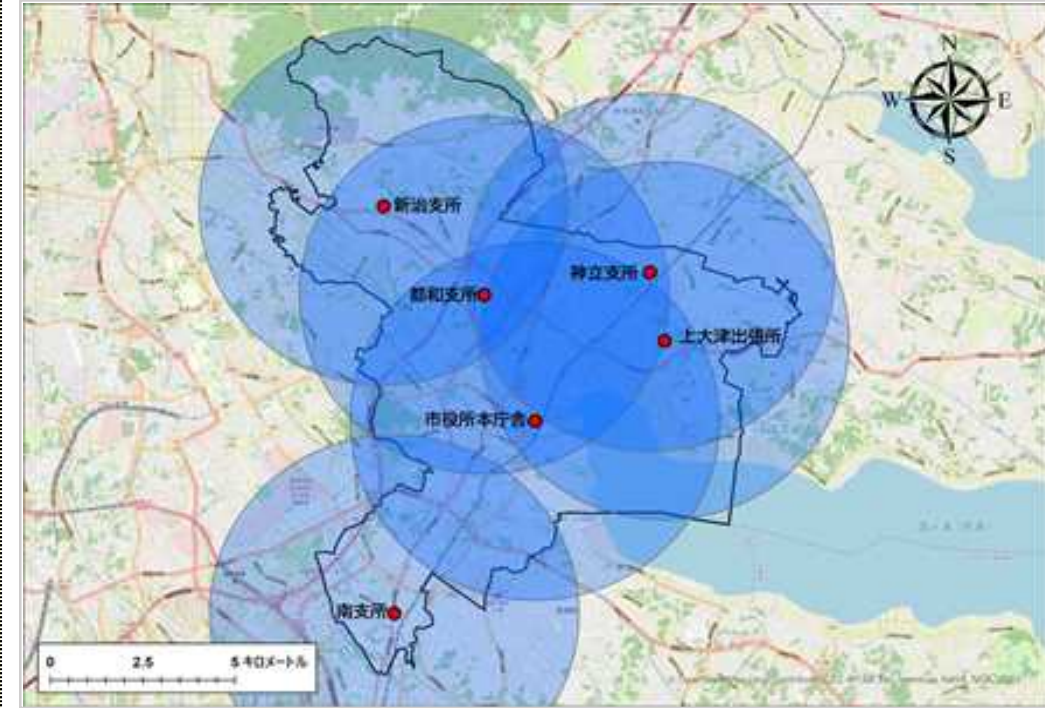
(1) 都和支所

d 再編検討の状況

◎意見交換内容

・支所の①場所、②機能について

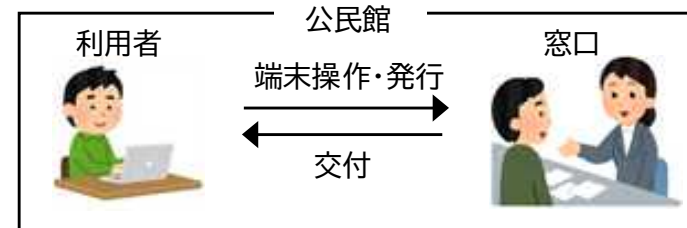
- ①場所 … 都和公民館(事務所内)へ移転、現施設は閉館
- ②機能 … 利用件数の96%を占める**主要機能は維持**
(証明書交付、市税収納、各課手続き書類の受領)
※下記<参考1・2>による省力化・人員削減
- ③時期 … 約10年後(都和公民館の長寿命化工事後)
- ④効果
 - ◎**ワンストップ**
施設の多機能化・多目的化による利便性向上
 - ◎**コスト削減**
 - ・複合化による運営経費(人件費等)の削減
 - ・施設改修・更新費用の削減



<参考1> 遠隔通信による証明書交付サービス
(住民票、印鑑登録証明、市税諸証明、戸籍の証明)



<参考2> マイナンバーカード利用端末での証明書交付
(住民票、印鑑登録証明、市税諸証明)



※いずれも
上大津出張所で
実績あり

B 本日の意見交換内容

3 都和地区再編方針の検討状況について

(2) 都和児童館

(2)都和児童館

a 現状と課題

①配置状況…児童館を含む子育て支援施設は、各中学校区に1施設以上配置
→**子育て支援**の観点から、今後も各地区に機能を維持する

施 設	利 用 対 象 者	主 な 活 動
児童館	～18歳未満を対象 →小学校入学までは 保護者同伴	・親子で楽しむ催しもの ・親同士の交流、悩み相談 ・子どもたちの居場所 ・様々なイベントを通し健全な遊びを与える
子育て交流サロン わらべ・のぞみ	子育て家庭の親子 (～3歳が利用の目安)	・親同士の交流、悩み相談 ・乳幼児とその家族が自由に過ごせる施設
地域子育て 支援センター (民間含め市内に 5か所配置)	～就園前の子	・親子で楽しむ催しもの ・親同士の交流、悩み相談
こどもランド	概ね12歳以下の子ども →小学3年生までは 保護者同伴	・子どもの遊び場 (遊具・おもちゃ等は乳幼児向け) ・子育て親子の交流の場 ※保育施設ではないため、児童の預かりは不可



(2)都和児童館

a 現状と課題

②児童館の機能

児童館は、各子育て支援施設に共通する機能に加えて、児童館ならではの独自の機能も併せ持つ施設である。

広域的な子育て支援・交流拠点

- ・親同士の交流、悩み相談
- ・児童の成長に合わせた各種行事（講座、イベント等）の充実

各子育て支援施設に共通の機能

+

近隣の子どもたちの居場所

- ・小学生以上は、保護者同伴無しで、安心して遊びに行ける施設
- ・利用対象は18歳まで。中高生にも一定のニーズがある

児童館独自の機能

③児童館の開館時間

＜開館時間＞ 月曜日～土曜日 午前8時30分～午後5時
各施設、AMは未就学児、PMは小学生以上の利用が中心となる。

(2) 都和児童館

b 各児童館の利用状況(令和6年度)

○年齢別

区 分	延床面積	項 目	0～2歳	3～6歳	小学生	中高生	保護者	合 計
ポプラ児童館	583㎡	利用人数	2,897	1,394	3,403	1,944	5,093	14,731
		割合	19.7%	9.5%	23.1%	13.2%	34.6%	100.0%
都和児童館	438㎡	利用人数	1,484	659	5,812	791	3,603	12,349
		割合	12.0%	5.3%	47.1%	6.4%	29.2%	100.0%
新治児童館	273㎡	利用人数	1,326	766	461	8	1,950	4,511
		割合	29.4%	17.0%	10.2%	0.2%	43.2%	100.0%

中高生を含め
幅広い年齢層からの利用がある

小学生が多い

未就学児とその保護者が多い

○地区別

区 分	項 目	一中地区	三中地区	四中地区	六中地区	その他 (市内)	市 外	合 計
ポプラ児童館	利用人数	1,234	2,216	1,889	6,646	920	1,826	14,731
	地区別割合	8.4%	15.0%	12.8%	45.1%	6.2%	12.4%	100.0%

地区内外から満遍なく利用

区 分	項 目	都和中地区	二中地区	五中地区	その他 (市内)	市 外	合 計
都和児童館	利用人数	8,642	1,005	1,299	1,175	228	12,349
	地区別割合	70.0%	8.1%	10.5%	9.5%	1.8%	100.0%

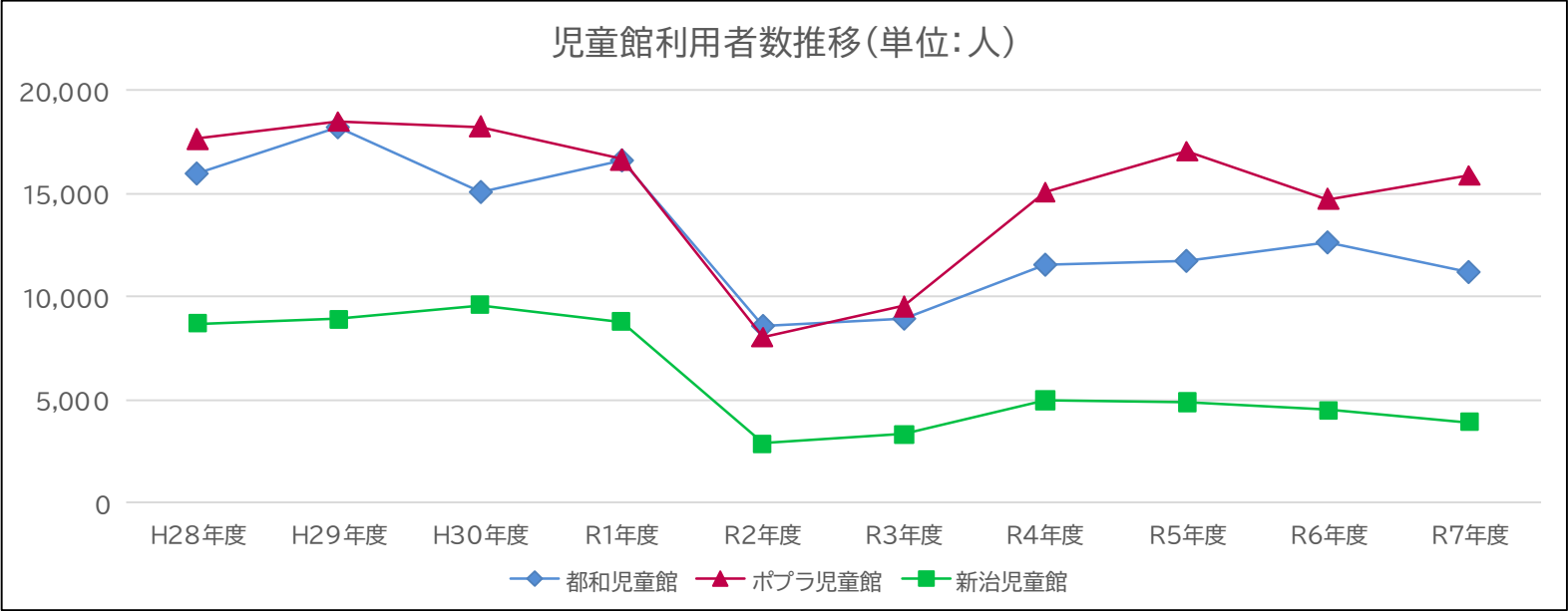
地区内の利用が多い

区 分	項 目	都和中地区	二中地区	五中地区	新治中地区	その他 (市内)	市 外	合 計
新治児童館	利用人数	1,136	804	743	781	580	467	4,511
	地区別割合	25.2%	17.8%	16.5%	17.3%	12.9%	10.4%	100.0%

地区外の利用が多い

(2)都和児童館

b 各児童館の利用状況(直近10年間の利用状況推移)



c 都和児童館のコスト状況

◎長寿命化工事費用(概算)
約**2.5億円**
(現施設の全面的な改修・更新等)

◎年間運営経費
約**3,300万円**

施設名	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7/H28
都和児童館	15,988	18,198	15,083	16,620	8,593	8,981	11,537	11,697	12,661	11,202	70.1%
ポプラ児童館	17,633	18,478	18,233	16,641	8,046	9,533	15,062	17,032	14,731	15,858	89.9%
新治児童館	8,694	8,917	9,585	8,792	2,889	3,325	4,992	4,889	4,511	3,920	45.1%
3館合計	42,315	45,593	42,901	42,053	19,528	21,839	31,591	33,618	31,903	30,980	73.2%
18歳未満人口	21,921	21,498	21,085	20,526	20,062	19,501	19,110	18,706	18,309	17,759	81.0%

※18歳未満人口…各年度4月1日時点における0歳～17歳の住基人口

・3施設の合計利用者数…10年前と比べて**27%減少**
・18歳未満の人口…10年前と比べて**19%減少**

(2) 都和児童館

d 再編検討の状況

◎意見交換内容

・都和児童館の**位置**について(現位置でのサービス提供)

①ポプラ児童館

中高生を含め
幅広い年齢層の利用

地区内外から
満遍なく利用

H17年築で
比較的新しい施設



引き続き「**現施設**」での
サービス提供が望ましい

②都和児童館

地区内の利用が多い

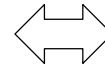
小学生が多い

→ **近隣の子どもたちが放課後・休日に利用しやすい立地**

(現位置の場合)

交通量が少ない、住宅街の中央
に位置しており、安全な立地

園庭でサッカー等ができる広さ
や、周辺住民の理解もあり、思い
きり遊べる環境が整っている



(「つわぶき」に移転した場合)

住宅街から少し離れた立
地で、交通量の多い道路
を横断する必要がある

園庭は現在よりも狭くなる



引き続き「**現位置**」
でのサービス提供
が望ましい

(施設の老朽化への対応、
利用者数の減を踏まえた
施設機能について検討)

③新治児童館

未就学児と
その保護者が多い

地区外の利用
が多い

隣接する小学校
の閉校



**現位置である必要はないが、地区内唯一の子育て支援
施設**として、引き続き地区内に機能確保する必要がある

施設機能の充実や交通利便
性の向上が図れる場所への
移転を検討

(計画には、新治総合福祉センター
内への移転検討について記載あり)

B 本日の意見交換内容

3 都和地区再編方針の検討状況について

(3)老人福祉センター「つわぶき」

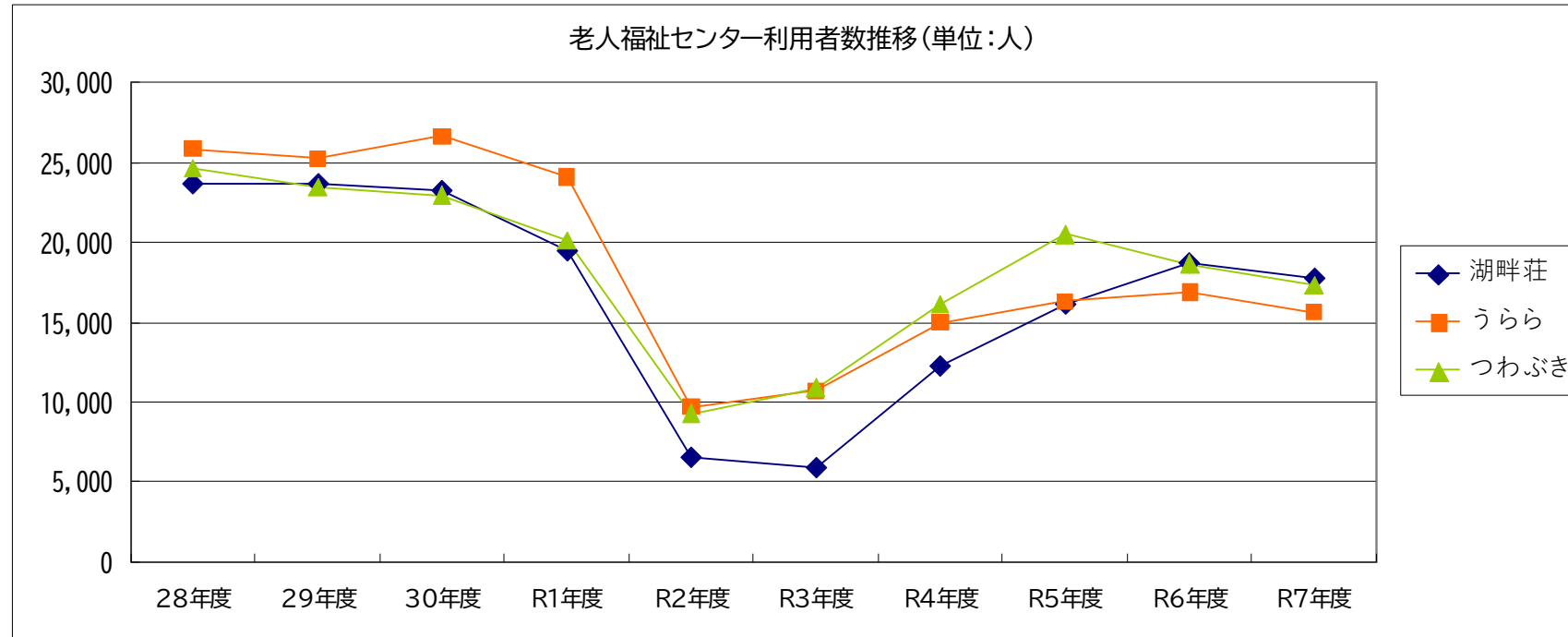
(3)老人福祉センター「つわぶき」

a 利用状況

- ・3施設の合計利用者数…10年前と比べて約3割減少
- ・65歳以上の人口…10年前と比べて8.3%増加

①老人福祉センターの利用状況と高齢者人口の推移

	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7/H28
湖畔荘	23,694	23,664	23,306	19,461	6,559	5,938	12,299	16,194	18,710	17,799	75.1%
うらら	25,887	25,250	26,680	24,126	9,731	10,712	15,006	16,333	16,883	15,647	60.4%
つわぶき	24,668	23,475	22,973	20,131	9,296	10,905	16,139	20,538	18,665	17,313	70.2%
合計 … a	74,249	72,389	72,959	63,718	25,586	27,555	43,444	53,065	54,258	50,759	68.4%
65歳以上 … b	38,281	39,129	39,904	40,381	40,860	41,141	41,297	41,470	41,561	41,457	108.3%
a/b	1.94	1.85	1.83	1.58	0.63	0.67	1.05	1.28	1.31	1.22	



(3)老人福祉センター「つわぶき」

b 令和6年度 老人福祉センターの利用状況

区分	利用者数	登録者数	団体利用回数
湖畔荘	18,710	238	314
うらら	16,883	218	95
つわぶき	18,665	205	217
合計	54,258	661	626

※施設を利用する際は、年度毎に利用者登録・更新手続きが必要

→各施設の登録者は約200人程度で、**一部の利用者が頻繁に利用**していることが推察される。

※つわぶきの各部屋の利用人数は、1日平均3～4人程度

c 老人福祉センター「つわぶき」の修繕状況

●直近10年間の修繕実績 … **20件**：約**530万円**
(循環ポンプ、ボイラー、配管、タイルなど)

d 老人福祉センター「つわぶき」のコスト状況

◎長寿命化工事費用(概算) 約**5億円**
(外壁改修、屋上防水、設備・内装改修など)

◎年間運営経費(全体) 約**2,800万円**

●浴室更新費用(概算) 約**5,200万円**
(ボイラー、貯湯タンク、循環ポンプ更新など)

・年間の運営経費のほか、改修・更新に係る費用負担が大きい
・特に、浴室の老朽化に対する費用負担が大きくなっている

(3)老人福祉センター「つわぶき」

e 再編検討の状況

◎意見交換内容

・集会機能の配置について

①機能について

- ・利用状況の推移
- ・利用者の固定化
- ・運営コストや改修コスト

・「つわぶき」の浴室サービスは終了
・集会機能は引き続き確保

②集会機能の配置場所(立地)について

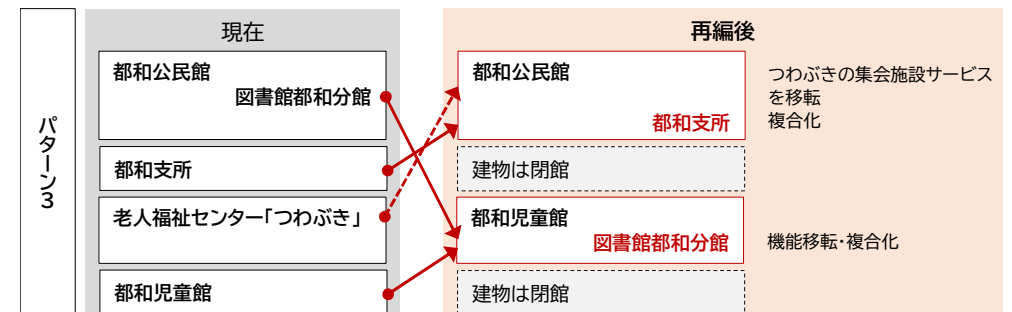
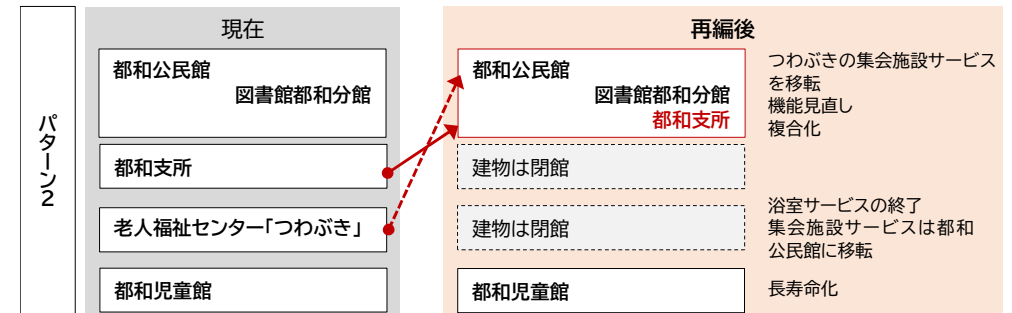
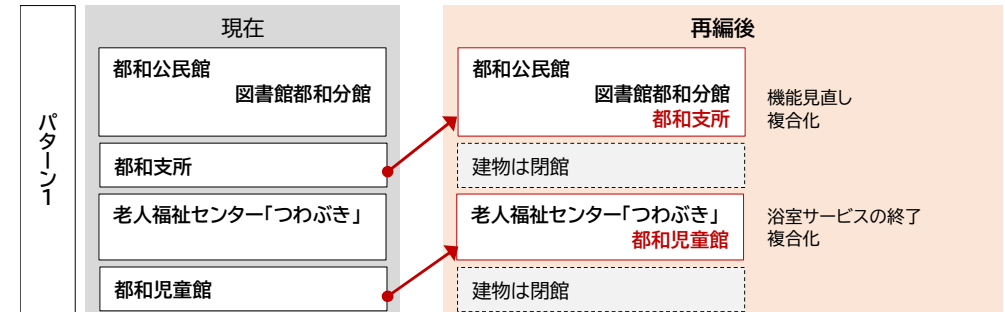
配置パターン案(右図)では以下の2案を示している

- ・現位置(都和児童館と複合化)…パターン1
- ・都和公民館へ移転し、建物を閉館…パターン2・3

児童館の検討状況(現位置が望ましい)

集会機能:都和公民館への移転について検討
※時期…約10年後(都和公民館の長寿命化工事後)

【再掲】配置パターン案(再編・再配置計画より抜粋)



B 本日の意見交換内容

3 都和地区再編方針の検討状況について

(4) 図書館都和分館

(4)図書館都和分館

a 現状と課題

①配置状況

- ・初めに三中地区、次に都和地区に分館を開設
(貸出サービスを行う拠点として開館)
- ・その後、神立コミュニティセンター、新治地区公民館の新設時に分館を開設

→配置が北に偏っている

②都和分館の特徴

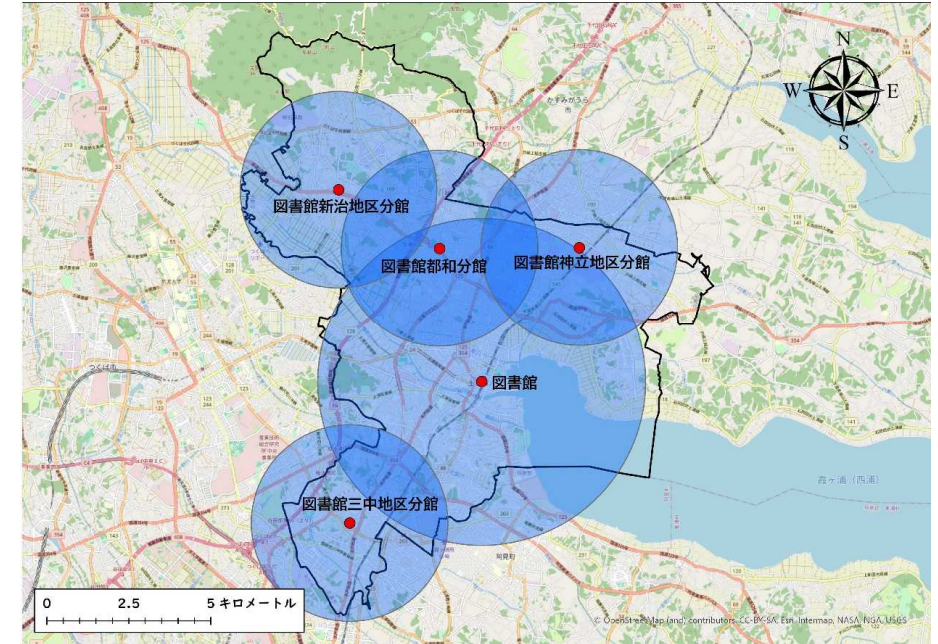
- ・神立分館、新治分館の間に位置している
- ・延床面積が小さい (神立分館の約1/2、新治分館の約1/4)

→ 蔵書数が少ない → 貸出の約1/3は予約の受け取り
通路が狭い
館内に閲覧スペースが無い
来館者数、貸出冊数が少ない (他の分館の半分以下)

- ・図書館全体の2%程度、分館全体の約10%程度

→課題を踏まえ、サービスの見直しが必要

○位置図



○直近5年間の貸出冊数

うち5,770冊が
予約の受け取り

区分	R3	R4	R5	R6	R7
本館	523,486	547,362	526,691	500,982	482,966
三中地区分館	63,831	70,338	63,980	64,306	61,561
都和分館	14,325	14,839	15,892	15,824	15,232
新治地区分館	32,023	35,298	33,331	36,250	38,804
神立地区分館	48,806	53,612	51,979	47,985	46,323
合計(冊)	682,471	721,449	691,873	665,347	644,886
都和分館が全体に占める割合	2.10%	2.06%	2.30%	2.38%	2.36%
都和分館が分館全体に占める割合	9.01%	8.52%	9.62%	9.63%	9.41%

(4)図書館都和分館

b 利用状況

○本館・分館別利用状況（令和7年度、都和地区在住者・年代別） ※利用者データから、都和地区在住の貸出利用者が利用している施設を抽出

年 齢	0歳～6歳		7歳～9歳		10歳～12歳		13歳～15歳		16歳～18歳		19歳～22歳		23歳～29歳		30歳～49歳		50歳～64歳		65歳以上		合計	
	冊数	延べ人数	冊数	延べ人数	冊数	延べ人数	冊数	延べ人数	冊数	延べ人数	冊数	延べ人数	冊数	延べ人数	冊数	延べ人数	冊数	延べ人数	冊数	延べ人数	冊数	延べ人数
地 区																						
本館	722	113	1,356	264	780	215	191	66	189	64	623	232	778	189	3,125	982	2,967	1,023	7,035	2,305	17,766	5,453
新治分館	1,072	158	356	72	285	54	35	8	29	5	68	19	93	37	1,884	447	1,033	296	1,773	607	6,628	1,703
神立分館	31	5	75	11	43	8	0	0	9	2	4	2	3	1	170	47	252	103	151	52	738	231
三中地区分館	28	4	9	2	0	0	0	0	9	2	0	0	2	2	30	12	61	33	27	19	166	74
都和分館(再掲)	790	142	599	137	351	92	54	14	11	6	43	15	152	71	2,242	688	1,963	804	4,086	1,890	10,291	3,859
合計	2,643	422	2,395	486	1,459	369	280	88	247	79	738	268	1,028	300	7,451	2,176	6,276	2,259	13,072	4,873	35,589	11,320

都和地区在住の貸出利用者…全体の34.1%が都和分館を利用 → 約3分の2が 本館・他の分館 を利用

○電子図書館の利用状況(令和3～7年度)

年度	コンテンツ数	利用者 ログイン回数	コンテンツ 閲覧回数	読み放題パック 閲覧回数	DL-マガジン(電 子雑誌)閲覧回数	コンテンツ 貸出回数	利用登録者数 (累計)
R3	1,153	1,760	2,308			642	471
R4	1,195	33,225	52,369	26,322		16,530	538
R5	12,853	27,771	58,342	33,206		15,536	672
R6	13,324	18,854	40,193	22,505		11,006	752
R7	11,141	13,378	30,421	16,748	539	7,685	864

電子図書館の拡充により、
時間や場所を問わない読書機会の提供及び
環境の整備に努めている。

※令和4年7月、学校向けの「こどもでんしとしょかん」導入。同年中に「読み放題パック」も購入。

※令和7年4月、DL-マガジン(電子雑誌)導入

※「コンテンツ閲覧回数」には「読み放題パック閲覧回数」「TRC-DL閲覧回数」を含む

(4)図書館都和分館

c 同種機能比較

分類	図書館分館	公民館図書室	公民館図書コーナー	学校図書室	児童館図書コーナー
機能及び特徴	・図書館サービスの拠点 ・多くの蔵書があり、ほとんどの分館が閲覧スペースを併設	・公民館の一室を使用 ・公民館の独自事業として設置しており、本の貸出・閲覧が可能	・ロビーの一部に設置 ・上大津公民館で今後実施予定	・読書習慣定着が目的 ・都和地区の各学校には、分館に匹敵する蔵書数があり、貸出数も3校で分館の約2倍	・児童館の多様な過ごし方の1つとして配置されており、様々な種類の本を読むことが可能
本の冊数	◎13,000冊以上	○5,000冊程度 (例:六中公5,488冊)	○5,000冊程度を想定	◎平均約12,000冊	△2,000冊程度 (例:都和2,437冊)
閲覧スペース	○都和以外は併設	○室内で可能	○学習スペース併設	○室内で可能	○室内で可能
本へのアクセス	○自由に閲覧可	△貸館で使用中は不可	◎気軽にアクセス可	△利用時間が限られる	○自由に閲覧可
コスト	×専属の係員が常駐	○部屋の1つとして管理	○公民館で管理	×専属の係員が常駐	○児童館で管理
本館の本の受取	○	×	×	×	×

- ・図書館分館 … ○図書館の本を取り寄せできる。
×専属の職員配置、専用端末等の設置によりコストが掛かる。(約400万円/年)
- ・公民館図書室 … ○公民館職員による管理・貸出を行うことから、低コストでサービスの提供が可能。
×図書館の本を借りることができない。貸館として使用中は、図書室に入室できない。
- ・公民館図書コーナー … ○ロビーの一角に設置し、公民館利用者が気軽にアクセスできる→利用者の増
×図書館の本を借りることができない。

(4)図書館都和分館

d 再編検討の状況

読書機会の提供場所 … **都和公民館**に確保

◎意見交換内容

・地区における読書機会の提供及び環境整備について

(各地区公民館で読書機会を提供)

図書館分館の配置バランス

… 図書館サービス拠点を市内にどう配置するか

同種サービスとのバランス

… 学校図書館、児童館図書室など

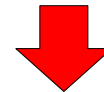
施設内の他の機能とのバランス

… 公民館内に何㎡確保できるか
(公民館、支所、老人福祉センター集会機能とのバランス)

コスト

… 費用対効果、コスト抑制

**総合的に
検討**



施設総量の縮減・コスト抑制を図りつつ、**地域全体で機能維持・向上が可能なあり方**について、他の施設の方向性も踏まえ検討する。

(5)検討状況<まとめ> / 実施スケジュール(見込み)

30. 老人福祉センター「つわぶき」

- ・浴室は**廃止**
- ・都和公民館への機能移転について検討

6. 図書館都和分館

- ・読書機会の提供場所を都和公民館に確保
- ・地域全体で機能維持・強化する方法を検討

38. 都和支所

- ・都和公民館(事務所内)へ移転

32. 都和児童館

- ・引き続き「**現位置**」でのサービス提供を検討(施設の老朽化への対応は必要)

現在

都和公民館

図書館都和分館

都和支所

老人福祉センター「つわぶき」

都和児童館

本日の検討状況

都和公民館

サービス見直し
都和支所

建物は閉館

建物は閉館

都和児童館 [現位置]

劣化状況等を踏まえた
早期対応

ご意見・お問い合わせ先は下記まで

総務部 財産管理課

公共施設マネジメント推進室(本庁舎3F)

【電話】代表029-826-1111(内線2497)